

高齢者福祉

介護基盤の緊急整備特別対策

小規模多機能型居宅介護事業所の施設を増築し、利用者増加への対応として効果がありません。

地域介護・福祉空間整備推進

消防法に基づき、小規模福祉施設の消防設備を整備しました。

今後、施設整備だけでなく、避難体制を整えるなど、安全の確保が必要です。

社会福祉

生活保護業務データシステムへの導入および医療扶助レセプトの電子化

生活保護世帯の動向把握と、医療扶助費を分析するため、環境を整備しました。

今後は、本格稼働に向けた調整が必要です。

子育て支援

乳幼児医療費の無料化

昨年10月の診療分から、小学校就学前乳幼児の医療費

都市基盤

国土利用計画策定

国・県の計画、市の長期総合計画に基づき、土地利用に関する計画を策定しました。

今後、土地利用に関する計画の策定にあたっては、この計画を指針とします。

志摩庁舎第二庁舎の耐震診断・補強設計

志摩庁舎第二庁舎で、耐震化に向けた耐震診断・補強設計を実施しました。

診断の結果、耐震工事が必要であったため、10月に予定している図書館（志摩館）、いとしま応援プラザの開設に向けて、工事を実施する必要があります。

泊二団地改修

泊二市営住宅の水洗化工事実施によって、生活環境を改善し、快適な住環境を確保することができました。

共聴施設整備

地上デジタル放送を受信できなかった対象地区でも視聴できるようになりました。

波多江駅バリアフリー化

波多江駅にエレベーター2基と障がい者対応型トイレを設置。高齢者や障がい者

を無料化。疾病の早期発見・早期治療促進や負担の軽減などに効果がありません。

保育園施設整備

怡土中央台・福吉・引津保育園の各園で乳児室などの施設整備を行い、入所定員を増員したことで、待機児童の解消に効果がありません。

学校教育

深江小学校プール改修

老朽化したプールの改修工事により、良好な教育環境を確保しました。



改修した深江小学校のプール

小中学校地デジ対応

地上デジタル放送未対応の学校に、アンテナ・チューナーを設置しました。

なお、姫島小・志摩中・姫島分校については、受信レベル

交通

地域交通計画策定業務

公共交通不便地域の縮小や市街地活性化など、総合的かつ長期的な施策を打ち出しました。

施策の展開には、多額の経費を要するため、国県補助の活用や市民協働による効率化が必要です。

筑前深江駅周辺整備

南北自由通路設置とバリアフリー化、駅周辺整備に向けて、関係機関との協議を進めました。

今後、地元への説明や都市計画審議会の実施が必要です。

上下水道等

第7次拡張事業

水源開発（整備）を完了し、給水区域を拡大。事業の見直しなどにより事業費を大幅に削減できました。

なお、給水人口や最大給水量の伸びが少ないため、水需要計画の見直しや給水人口を増加させる施策が必要です。

市が誕生して1年が経過。事業の評価を行いました。

糸島市になって初めての評価 対象は46事業

糸島市は、実施計画事業のうち、平成22年度に完了した事業の事後評価を行いました。今回の評価では、市誕生に伴い、早急に策定する必要があった各種計画の策定事業や、旧市町で実施してきた事業の継続分など46事業が対象です。

が低いいため引き続き対策が必要です。

前原南小学校屋内運動場改修

屋根・外壁の改修によって、建物の長寿命化を図ることができました。

なお、内部の損傷・劣化も進んでいるため、今後対応が必要です。

小学校校舎耐震診断

一貴山・引津小学校の耐震2次診断が完了し、両小学校とも耐震性が確保されていることを確認しました。

前原南中学校理科室改修

老朽化した実験台を取り替えたことで、作業がその場で行えるようになり、授業のスムーズな進行が可能になりました。

前原南小学校受電設備改修

受電設備の更新が完了し、自家用電気工作物の不良箇所を解消しました。

前原南中学校校庭舗装

来客用、職員用駐車場を舗装し、雨天時の水溜りや晴天時の砂ぼこりなどの問題を解消できました。

今後、未舗装箇所や、老朽化した舗装箇所への対応が必要です。

自然環境

一般廃棄物処理基本計画および地域計画策定

ごみ減量計画や施設の延命化の基本方針を示すことができました。

最終処分場補修

補修によって、クリーンセンター最終処分場の漏水を止めることができました。今後も水質検査を行うなど、経過の確認が必要です。

循環型社会

環境基本計画および温暖化防止計画策定

計画策定によって、基本目標や施策の方針、基本施策などを示すことができました。

今後、具体的な取り組みを示す行動計画を作成し、実践する必要があります。

学校給食残渣のたい肥化実証実験

たい肥の成分や給食残渣排出量のデータを収集し、活用できることを確認しました。今後、九州大学やJA糸島などと協力し、資源リサイクルに向けた取り組みを進める必要があります。

防災・防犯

地域防災計画策定事業

災害の予防・対応・復旧における各部署の事務や体制を整備しました。

今後は、地震や津波、原発事故に対応するため、計画を見直します。

協働のまちづくり

新市誕生記念式典および関連イベント

九州大学と連携し、斬新な記念式典異都ジャズフェスティバルを開催することができました。また、NHKのど自慢やドリム・ベースボール、花火大会を開催したことで、新市誕生のPRや市民の一体感を育む効果がありました。



好評だったドリム・ベースボール

生涯学習

図書館システム導入

新システムを導入し、検索・登録機能が充実しました。これにより10月開館予定の二丈・志摩館を含め、ネットワークを介した各館の連携が可能になります。

人権・同和教育

人権教育・啓発基本指針策定

市の指針を策定したことで、さまざまな人権問題の解決と人権が尊重される社会の実現をめざした施策を推進できます。

今後は、実施に向けた計画の策定が必要です。

男女共同参画

男女共同参画社会基本計画策定

計画を策定したことで、市民に市の施策を示し、総合的かつ計画的に取り組みを実施することができるようになります。

今後は、具体的な目標値を定めて、施策を進める必要があります。